

皆様、おはようございます。

今日はペンテコステの礼拝です。

過越しの祭り、仮庵の祭りに並びユダヤ3大祭りです。それぞれが収穫の感謝の礼拝ですが、ほかの二つのお祭りが1週間続くのに対し、ペンテコステは一日だけのお祭りです。過越しの祭りから50日目のこのお祭りは、収穫の感謝と共に、モーセがシナイ山で神様から10の戒めを頂いたことを覚える日とみなされるようになりました。

そして、このペンテコステの日こそが、旧約聖書ヨエル書の成就の時となりました。

ヨエル 3:1 見よ、わたしがユダとエルサレムとの幸福をもとに返すその日、その時、

3:2 わたしは万国の民を集めて、これをヨシャパテの谷に携えくんだり、その所でわが民、わが嗣業であるイスラエルのために彼らをさばく。彼らがわが民を諸国民のうちに散らして、わたしの地を分かち取ったからである。

3:3 彼らはわが民をくじ引きにし、遊女のために少年をわたし、酒のために少女を売って飲んだ。

…わたしはそこに座して、周囲のすべての国民をさばく。

3:13 かまを入れよ、作物は熟した。来て踏め、酒ぶねは満ち、石がめはあふれている。彼らの悪が大きいからだ。

3:14 群衆また群衆は、さばきの谷におる。主の日がさばきの谷に近いからである。

「酒のために少女を売って飲んだ。」とあります。これらは、主の民に対してひどい仕打ちをした諸国民へ向けられた言葉です。遊女のために少年をわたし、酒のために少女を売って飲んだ。これはとんでもない放蕩です。

この「酒」とは文字通りのお酒のみならず、全ての人の放蕩を指します。このゆえに、「かまを入れよ、作物は熟した。来て踏め、酒ぶねは満ち、石がめはあふれている。彼らの悪が大きいからだ。」と、主の怒りは燃え上がります。

「酒ぶね」とありますが、これはワインを造るためにぶどうを収穫し、その実を足で踏んで、ぶどう液がその酒ぶねを伝って石がめにたまるという仕組みなわけですが、

人の罪は熟し、その悪は留まるところなく、罪の刈り取りの時は来て、その悪の実を絞り出すと、酒ぶねは満ちて、石がめがあふれるほど、人の罪はおびただしいという事が聖書には記されてありました。諸国民に向けられた神様の怒りではありますが、諸国民のゆえにイスラエルの民は捕囚の憂き目にあうわけですが、それもまた他ならぬ民の的外れの罪のためでした。激しい迫害の中、神は虐げられますが、救いの時がやってきました。

2:19 主は答えて、その民に言われた、「見よ、わたしは穀物と新しい酒と油とを／あなたがたに送る。あなたがたはこれを食べて飽きるであろう。わたしは重ねてあなたがたに／もろもろの国民のうちでそしりを受けさせない。

2:20 わたしは北から来る者をあなたがたから遠ざけ、これをかわいた荒れ地に追いやり、その前の者を東の海に、その後の者を西の海に追いやる。その臭いにおいは起り、その悪しきにおいは上る。これは大いなる事をしたからである。

2:21 地よ恐るな、喜び楽しめ、主は大いなる事を行われたからである。

しかし主は、彼らに赦しの時を与えて下さいました。

ヨエル 2:19「見よ、わたしは穀物と新しい酒と油とを／あなたがたに送る。あなたがたはこれを食べて飽きるであろう。わたしは重ねてあなたがたに／もろもろの国民のうちでそしりを受けさせない。…21 地よ恐るな、喜び楽しめ、主は大いなる事を行われたからである。

「新しい酒と油」これはどういうものなのでしょうか。ヨエルはこのように語っています。

2:28 その後わたしはわが霊を／すべての肉なる者に注ぐ。あなたがたのむすこ、娘は預言をし、あなたがたの老人たちは夢を見、あなたがたの若者たちは幻を見る。

2:29 その日わたしはまた／わが霊をしもべ、はしために注ぐ。

2:30 わたしはまた、天と地とにしるしを示す。すなわち血と、火と、煙の柱とがあるであろう。

2:31 主の大いなる恐るべき日が来る前に、日は暗く、月は血に変わる。

2:32 すべて主の名を呼ぶ者は救われる。それは主が言われたように、シオンの山とエルサレムとに、のがれる者があるからである。その残った者のうちに、主のお召しになる者がある。

28 その後わたしはわが霊を／すべての肉なる者に注ぐ。あなたがたのむすこ、娘は預言をし、あなたがたの老人たちは夢を見、あなたがたの若者たちは幻を見る。

29 「その日わたしはまた／わが霊をしもべ、はしために注ぐ。」

32 すべて主の名を呼ぶ者は救われる。

これが民を立ち帰らせ、贖い、赦し、キリストの血によってきよめ、新しくして下さった神様が満たして下さる神様からの賜物です。神様は新たに霊を注ぎ、預言させ、民を生き返らせてご自分の証し人とされ、「すべて主の名を呼ぶ者は救われる」のです。

使徒 1:8 ただ、聖霊があなたがたにくだる時、あなたがたは力を受けて、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、さらに地のはてまで、わたしの証人となるであろう」。

この救われるべき主の御名を語るために主なる神様は聖霊を送って力に満たして下さるのです。

エペソの手紙においても、この新しくされた人の生き方が記されてあります。

5:8 あなたがたは、以前はやみであったが、今は主にあって光となっている。光の子らしく歩きなさい——

5:9 光はあらゆる善意と正義と真実との実を結ばせるものである——

5:10 主に喜ばれるものがなんであるかを、わきまえ知りなさい。

5:11 実を結ばないやみのわざに加わらないで、むしろ、それを指摘してやりなさい。

5:12 彼らが隠れて行っていることは、口にすることも恥ずかしい事である。

5:13 しかし、光にさらされる時、すべてのものは、明らかになる。

5:14 明らかにされたものは皆、光となるのである。だから、こう書いてある、／「眠っている者よ、起きなさい。死人のなかから、立ち上がりなさい。そうすれば、キリストがあなたを照すであろう」。

5:15 そこで、あなたがたの歩きかたによく注意して、賢くない者のようではなく、賢い者のように歩き、

5:16 今の時を生かして用いなさい。今は悪い時代なのである。

5:17 だから、愚かな者にならないで、主の御旨がなんであるかを悟りなさい。

5:18 酒に酔ってはいけない。それは乱行のもとである。むしろ御霊に満たされて、

5:18(新共同訳) 酒に酔いしれてはなりません。それは身を持ち崩すもとです。むしろ、霊に満たされ、

5:18(新改訳) また、酒に酔ってはけません。そこには放蕩があるからです。御霊に満たされなさい。

5:19 詩とさんびと霊の歌とをもって語り合い、主にむかって心からさんびの歌をうたいなさい。

5:20 そしてすべてのことにつき、いつも、わたしたちの主イエス・キリストの御名によって、父なる神に感謝し、

5:21 キリストに対する恐れの心をもって、互に仕え合うべきである。

「見よ、わたしは穀物と新しい酒と油とを／あなたがたに送る。あなたがたはこれを食べ、飽きるであろう。わたしは重ねてあなたがたに／もろもろの国民のうちでそしりを受けさせない。…地よ恐るな、喜び楽しめ、主は大いなる事を行われたからである。」

このヨエル書の言葉は、文字通り成就しました。

人は欲しいものを求めながらも道をさまよい、自分が本当に何を求めるべきかを知らずに的外れに歩みました。そこには恐れと悲しみと、悲劇がありました。しかし神様は、その狭くて暗いところから私たちを招きだして救い、新しい、本当に喜びの中へと移し入れて下さいました。それが、「新しい酒」に象徴される、聖霊の満たしでした。

ついにその時がやってきました。

- 1 五旬節の日がきて、みんなの者が一緒に集まっていると、
- 2 突然、激しい風が吹いてきたような音が天から起ってきて、一同がすわっていた家いっぱい響きわたった。
- 3 また、舌のようなものが、炎のように分れて現れ、ひとりびとりの上にとどまった。
- 4 すると、一同は聖霊に満たされ、御霊が語らせるままに、いろいろの他国の言葉で語り出した。

一同は、イエス様のお言葉のとおり、エルサレムを離れずに一つとなって歩んでいきました。その所に、約束通りの賜物が与えられました。

天からの満たし。激しい風が吹いてきたような音が天から起こってきて、一同が座っていた家一杯に響き渡り、舌のようなものが、炎のように分かれて現れ、ひとりひとりの上にとどまると、一同は聖霊に満たされました。そして彼らは自分の能力を超えて、聖霊が語らせるままに、色々の他国の言葉で語り出しました。

ここにバベルの塔での出来事の反対の出来事が起こりました。

創世記 11:1 全地は同じ発音、同じ言葉であった。

11:2 時に人々は東に移り、シナルの地に平野を得て、そこに住んだ。

11:3 彼らは互に言った、「さあ、れんがを造って、よく焼こう」。こうして彼らは石の代わりに、れんがを得、しっくい代わりに、アスファルトを得た。

11:4 彼らはまた言った、「さあ、町と塔とを建てて、その頂を天に届かせよう。そしてわれわれは名を上げて、全地のおもてに散るのを免れよう」。

11:5 時に主は下って、人の子たちの建てる町と塔とを見て、

11:6 言われた、「民は一つで、みな同じ言葉である。彼らはすでにこの事をしはじめた。彼らがしようとする事は、もはや何事もとどめ得ないであろう。

11:7 さあ、われわれは下って行って、そこで彼らの言葉を乱し、互に言葉が通じないようにしよう」。

11:8 こうして主が彼らをそこから全地のおもてに散らされたので、彼らは町を建てるのをやめた。

11:9 これによってその町の名はバベルと呼ばれた。主がそこで全地の言葉を乱されたからである。主はそこから彼らを全地のおもてに散らされた。

人々は、自分の力を誇示して、神様が自分たちを地に散らされないようにと画策しました。自分たちは、慣れ親しんだ仲間たちと力を合わせれば何でもできる。この安住

の地で過ごすのだ。神様が何とおっしゃろうと、私たちはここを離れずにいるのだ。こういう意思が彼らの内に生まれました。しかしそれは神様が喜ばれないことでした。

そこで彼らは互いに言葉が通じないようにされ、結局は神様の御心が成るようになりました。

しかし、言語を乱された神様は、また言語をご自由にご司ることがお出来になります。神様の聖霊が降る時、弟子たちは習いもしない言葉を操り、神の大きな働きを、全能の神様の御業をほめたたえました。

神様のお働きによれば、私たちはどんなに遠くに散らされようとも、また一つに集うことが出来ます。神様のお働きのためであれば、神様は聖霊を私たちに賜いて、私たちにすべての国々の人たちに通じる言葉を語らせてくださいます。また、すべての人たちの心に通じる言葉を語らせてくださいます。

1:8 ただ、聖霊があなたがたにくだる時、あなたがたは力を受けて、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、さらに地のはてまで、わたしの証人となるであろう」。

こうおっしゃった神様は、近くから、遠くから、すべての人たちに語りうる言葉を私たちに授けて下さいました。

2:5 さて、エルサレムには、天下のあらゆる国々から、信仰深いユダヤ人たちがきて住んでいたが、

2:6 この物音に大ぜいの人が集まってきて、彼らの生れ故郷の国語で、使徒たちが話しているのを、だれもかれも聞いてあっけにとられた。

2:7 そして驚き怪しんで言った、「見よ、いま話しているこの人たちは、皆ガリラヤ人ではないか。

2:8 それなのに、わたしたちがそれぞれ、生れ故郷の国語を彼らから聞かされるとは、いったい、どうしたことか。

2:9 わたしたちの中には、パルテヤ人、メジャ人、エラム人もおれば、メソポタミヤ、ユダヤ、カパドキヤ、ポントとアジア、

2:10 フルギヤとパンフリヤ、エジプトとクレネに近いリビヤ地方などに住む者もいるし、またローマ人で旅にきている者、

2:11 ユダヤ人と改宗者、クレテ人とアラビヤ人もいるのだが、あの人々がわたしたちの国語で、神の大きな働きを述べるのを聞くとは、どうしたことか」。

2:12 みんなの者は驚き惑って、互に言い合った、「これは、いったい、どういうわけなのだろう」。

「どうしたことか」、「これは、いったい、どういうわけなのだろう」と、驚きかえって、理解できないで、何度も何度も驚いて、理由も知れずに語り合う。このような素晴らしいことを神様はお出来になります。

2:13 しかし、ほかの人たちはあざ笑って、「あの人たちは新しい酒で酔っているのだ」と言った。

理解が不能であり、どうにもこうにもならないので、「何か変な新しい酒」でも飲んだのではないかと人々は思うしかなく、ばかにして、笑いものにし、冷笑し、あざ笑い、軽蔑し、皮肉るしか彼らにはできませんでした。しかしこの言葉は存外的外れではありませんでした。

ヨエル3章「見よ、わたしは穀物と新しい酒と油とを／あなたがたに送る。あなたがたはこれを食べて飽きるであろう。わたしは重ねてあなたがたに／もろもろの国民のうちでそしりを受けさせない。…地よ恐るな、喜び楽しみ、主は大いなる事を行われたからである。」

2:28 その後わたしはわが霊を／すべての肉なる者に注ぐ。あなたがたのむすこ、娘は預言をし、あなたがたの老人たちは夢を見、あなたがたの若者たちは幻を見る。



2:29 その日わたしはまた／わが霊をしもべ、はしために注ぐ。

2:30 わたしはまた、天と地とにしるしを示す。すなわち血と、火と、煙の柱とがあるであろう。

2:31 主の大いなる恐るべき日が来る前に、日は暗く、月は血に変わる。

2:32 すべて主の名を呼ぶ者は救われる。

ルカ 5:36 それからイエスはまた一つの譬を語られた、「だれも、新しい着物から布ぎれを切り取って、古い着物につぎを当てるものはない。もしそんなことをしたら、新しい着物を裂くことになるし、新しいのから取った布ぎれも古いのに合わないであろう。

5:37 まただれも、新しいぶどう酒を古い皮袋に入れはしない。もしそんなことをしたら、新しいぶどう酒は皮袋をはり裂き、そしてぶどう酒は流れ出るし、皮袋もむだになるであろう。

5:38 新しいぶどう酒は新しい皮袋に入れるべきである。

5:39 まただれも、古い酒を飲んでから、新しいのをほしがりはしない。『古いのが良い』と考えているからである」。

イエス様は人々に聖霊という「新しい酒」を注いでくださいました。これにより、人々の心は神様の御心によって一つに結ばれ、力を注がれて世界に向けて出発していきます。もはや弟子たちは神様の御心に背いて散らされることを恐れずに、神様の聖霊により、力を受けて地の果てにまで散らされていきます。これが神様の御業です。

マタイ 5:12 喜び、よろこべ、天においてあなたがたの受ける報いは大きい。あなたがたより前の預言者たちも、同じように迫害されたのである。

5:13 あなたがたは、地の塩である。もし塩のききめがなくなったら、何によってその味が取りもどされようか。もはや、なんの役にも立たず、ただ外に捨てられて、人々にふみつけられるだけである。

5:14 あなたがたは、世の光である。山の上にある町は隠れることができない。

5:15 また、あかりをつけて、それを柀の下におく者はいない。むしろ燭台の上において、家の中のすべてのものを照させるのである。

5:16 そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かし、そして、人々があなたがたのよいおこないを見て、天にいますあなたがたの父をあがめるようにしなさい。

マタイ 28:19 それゆえに、あなたがたは行って、すべての国民を弟子として、父と子と聖霊との名によって、彼らにバプテスマを施し、

28:20 あなたがたに命じておいたいっさいの事を守るように教えよ。見よ、わたしは世の終りまで、いつもあなたがたと共にいるのである」。

勇気をもって、進みゆきましょう。ここに新しい道があります。ここに新しい酒がありません。聖霊によって、私たちは力強く出ていきます。

新しいぶどう酒には新しい革袋。私たちの心をいよいよ新しくして、神様の霊をお迎えし、新しくされて御心のうちに進み出ようではありませんか。

◇祈禱；天の父なる神様、今日の礼拝を感謝します。思いもよらない祝福に満たしてくださいます主の恵みに感謝いたします。私たちの苦労も悩みも寂しさも、分かって寄り添い、子よと呼び、必要を満たしてくださいますお方を主と信じてこれからも力強く進ませてください。先のことは分かりませんが、主が私たちがいつも共におられることは分かりますから、心から感謝を申し上げます。子供からお年寄りまで、あらゆる年齢の方々が、この時こそ教会にて、イエス・キリストに出会うことができますようお願いいたします。私たちの家族と、地域の方々を祝福して下さい。主イエス様の御名によって祈ります。アーメン